

令和6年第2回おいらせ町議会定例会

一般質問通告書（6人）

順位	議席番号	議員氏名	質問方式
1席	3番	小笠原 伸也 議員	一問一答方式
2席	11番	平野 敏彦 議員	一問一答方式
3席	12番	榎山 忠 議員	一問一答方式
4席	4番	沢尾 宏之 議員	一問一答方式
5席	14番	西館 芳信 議員	一問一答方式
6席	7番	澤上 訓 議員	一問一答方式

順位	1 席	議員 氏名	3 番 小笠原 伸也	質問方式	一問一答方式
----	-----	----------	------------	------	--------

1. 行政と社会福祉協議会の在り方について

いきいき館内にある社会福祉法人おいらせ町社会福祉協議会は、1951年に制定された社会福祉法に基づく社会福祉事業の中心的組織であり、法律的にも明らかな民間団体である。にもかかわらず町の令和6年度一般会計歳出予算から社会福祉協議会に「民生費」として4,246万円の多額補助金を出している。多くの町民も町の行政機関と捉えている。

そのことを踏まえ、行政と社会福祉協議会の在り方について質問する。

(1) 社会福祉協議会の人件費について

- ア. 町補助金（町税分）から人件費9割以上が支払われている。半官半民の非営利団体と考えて良いのか伺う。
- イ. 町補助金（町税分）の補助対象経費である、人件費のほかに、違う町補助金（町税分）があるのか。

(2) 役場との連携について

- ア. 監査等、役場介護福祉課と連携があるのか。役場の指導や助言が入る場合もあるのか伺う。
- イ. 社会福祉協議会会費は、1世帯1,000円であるが、令和6年2月29日現在、おいらせ町10,909世帯中5,222世帯が会費を納入している。納入率48%で良いのか伺う。
- ウ. 寄付金が減少した場合、町補助金（町税分）を充てることもあるのか伺う。
- エ. 町内会への依頼では、町内会加入していない町民は社会福祉協議会会費を納入しない傾向にある。このままで良いのか。改善策は無いのか伺う。

順位	1 席	議員 氏名	3 番 小笠原 伸也	質問方式	一問一答方式
<p>オ. 会費を納入していない町民は、各種サービスを受けられないのか。受けられる場合、社会福祉協議会会費未納町民分の予算はどうなるのか。不公平感が生じているが行政の方針を伺う。</p>					
<p>2. 高齢者等世帯に対する支援について</p>					
<p>高齢者や障害のある方、妊産婦などの在宅支援について</p>					
<p>(1) 可燃ごみをごみステーションまで運ぶことが困難な世帯に対して、玄関先でごみを収集するサービスができないか伺う。</p>					
<p>(2) タクシー助成制度を検討し、他の公共交通手段よりも利用想定者の身体的負担が極めて小さく、病院や買い物等に外出できるサービスを提供できないか伺う。</p>					
<p>3. おいらせ町家庭用生ごみ処理補助金について</p>					
<p>現在おいらせ町は、一般家庭から排出される生ごみの減量化を図るとともに、資源の再利用に対する町民の意識高揚を図るために、家庭用生ごみ処理機購入に補助金を交付している。</p>					
<p>(1) 家庭用生ごみ処理機購入のための補助金上限が購入価格の3分の2以内の額で、20,000円を限度としている。機器が高額傾向にあり補助金上限を引き上げる考えはないか伺う。</p>					

順位	2席	議員 氏名	11番 平野 敏彦	質問方式	一問一答方式
<p>1. 町スポーツ施設整備について</p> <p>(1) スポーツ振興で町民が心身ともに健康で暮らせる町、子育て支援や町民の交流、スポーツ大会の開催による来町者の増加を図り「住んでみたい街おいらせ町」のイメージアップの為、多くの町民の声として、いちょう公園グラウンドの人工芝化と夜間照明設備の整備を早急にと、利用者や父兄から望まれております。町長の公約にあります「すべては子どものために」施設整備を推進し「子どものびのび・大人いきいき」のおいらせ町を目指す、町長の考えをお伺いいたします。</p> <p>(2) 人工芝グラウンドの整備については、文部科学省や国土交通省等の補助金の活用も可能と思いますが、町の対応についてお伺いいたします。</p> <p>(3) 「第2次町総合計画後期基本計画」の基本方針3-5スポーツ・レクリエーション活動の促進で【施策の方向性】として、①から④の中で「③競技スポーツの推進に努めます。」「④スポーツ施設の充実と利活用を促進します。」とあります。具体的な整備計画についてお伺いいたします。</p> <p>2. 運転免許証の自主返納者に対する町の支援策について</p> <p>(1) 高齢者への事故防止対策として、町の取り組みについてお伺いいたします。</p> <p>(2) 運転免許証の自主返納者の把握とデメリット対策についてお伺いいたします。</p> <p>(3) 運転免許証の返納で受けられる特典と、優遇措置についてお伺いいたします。</p> <p>(4) 町独自の自主返納者に対する支援策の考えはないか、お伺いいたします。</p>					

順位	2席	議員 氏名	11番 平野 敏彦	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	-----------	------	--------

3. 申請書を「書かない窓口」の導入について

- (1) 国は自治体の窓口業務デジタル化を推進しており、その一環として、マイナンバーカードなどの情報を活用することで「書かない窓口」の導入が進んでおります。町の現在の証明書等の発行までの所要時間についてお伺いいたします。
- (2) 町の窓口業務の対応で、苦慮している点と改善すべきと思われる点についてお伺いいたします。
- (3) 町民と職員双方の負担軽減と、高齢者へのサービス対策として「書かない窓口」導入の考えがないか、お伺いいたします。

順位	3席	議員 氏名	12番 榎山 忠	質問方式	一問一答方式
<p>1. 町の特殊出生率について</p> <p>(1) 厚生労働省が4月19日、2018から22年の5年間の全国の市区町村別の合計特殊出生率を公表しましたが、県平均は全国平均と同じく1.33人でしたが、おいらせ町は県最高の1.67人と、素晴らしい結果でしたが、そこで次のことを問います。</p> <p>ア. この結果をどの様に評価していますか。</p> <p>イ. 町の23年度の出生率の目標値と結果はどのようになりましたか。</p> <p>ウ. 出生率の将来像と対策をどのように考えていますか。</p> <p>2. 町の死亡率について</p> <p>(1) 同じく厚生労働省より、2018から22年の5年間の全国の市区町村別死亡率が発表されましたが、全国平均を100とすると県の短命ぶりが目立っていました。男性の県平均は118.5、女性の県平均は112.9でしたが、次のことを問います。</p> <p>ア. 町の男性は119.0で県23位、女性は114.0と20位でしたが、いずれも県平均を上回っていますが、その原因をどのように考えていますか。</p> <p>イ. 県の男女別平均死亡年齢と、町の男女別平均死亡年齢はどのようになっていますか。</p> <p>ウ. 男女別の死亡原因の1位から5位はどのようになっていますか。また、その対策をどのように考えていますか。</p>					

順位	3席	議員 氏名	12番 榎山 忠	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	----------	------	--------

3. 人口減少対策について

(1) 民間組織「人口戦略会議」が将来「消滅の可能性がある」と指摘した自治体は、青森県では35市町村となっていました。その中において消滅の可能性を回避しているのは、六戸町の減少率が最も低く37.2%で、次に低いのはおいらせ町で、43.3%となっていました。当町は子育て世帯にとって「住みやすい」とのイメージが定着したとみられると評価されていましたが、減少率は前回比で6.8ポイント悪化していました。それに対する町長のコメントは「東京一極集中が加速しており、国レベルで改善を図ってほしい」とコメントしていましたが、その要因はあるとしても国に転換すること無く、当町独自の人口減少対策を考えるべきと思います。特に計画の中の新庁舎建設、病院移転を含めた町の将来像をしっかりと示して欲しいと考えますが、どのように考えていますか。

4. 新除雪機の運用について

(1) 今冬に初めて運用した除雪機について次のことを問います。

ア. 主に何処で活用されたのか。また、除雪機単独の活用なのか。排雪場所等、運用効率に課題はなかったのか。もし課題があったならば、その対策をどのように考えていますか。

5. 古い消防車両について

(1) 5月2日開会の臨時会において、議案第29号、水槽付消防ポンプ自動車（百石第4分団）購入契約の説明があり、購入価格7,227万円の契約について承認しましたが、古い車両の処分について問います。

ア. 処分はどのような方法で行われますか。過去には競売を行なって財源としたことを記憶していますが、今回はどのような方法を考えていますか。

順位	4席	議員 氏名	4番 沢尾宏之	質問方式	一問一答方式
<p>1. 小中学校の授業時間について</p> <p>(1) 当町の小中学校の授業時間は、1単位時間あたり小学校45分、中学校50分と確認しているが、どうでしょうか。</p> <p>(2) 今年、文部科学省では授業時間の見直しが検討され、今年の秋にも議論が開始されるようです。父兄からも心配する声が聞こえています。</p> <p>思考力や表現力などを重視している現状では、現在の枠組では難しく、教育環境の格差も広がっている様です。すでに授業時間を独自に見直す小中学校もあり、通常より5分短い授業を導入している自治体もある。午前中に5時間の方が生徒達の集中力を持続させやすいとの意見もある。当町も子供達の教育環境を改善し学力を向上させるための準備が必要と思うが、今後の対応を伺う。</p> <p>2. 浜道地区農道の整備について</p> <p>(1) 歩道の整備について</p> <p>浜道地区の歩道の整備は、浜道113-1付近までで中断している。十数年前、町が整備した住宅地が木ノ下東にあり、入居する際、歩道が整備される予定があると当時の職員から聞いていたそうです。また、その先にある住宅分譲地にも多数の住民が生活し、小中学生が登下校している状況であるが、路肩の狭い木ノ下農村公園までの歩道の整備が必要と思うが町はどのように考えているか。</p> <p>(2) 歩道の冬期対応について</p> <p>浜道地区の歩道の除雪が実施されておらず、通学している児童に尋ねて回答を得た結果、ここ数年1度も除雪された状況はなく車道を通行するしか無かったようです。この道路は最近大型車の通行も増え交通量が増加している事もあり、住民の安全が懸念される。</p> <p>昨今は降雪量も減ってきているものの対応する必要があると思う。住民の安全安心の為に、近隣住民に降雪量の状況に応じて除雪を依頼する等の対応を検討をしても良いかと思うが、今後の対応について伺う。</p>					

順位	5席	議員 氏名	14番 西館 芳信	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	-----------	------	--------

1. 消防体制の在り方について

(1) ポンプ車の購入について

我が町議会は先の臨時会で水槽付ポンプ自動車1台を契約金額7,227万円で購入した。町民の生命財産を守るための必需装備であるが、安いものではないと思う。そこで、

ア. これに関する国、県の助成の有無、及び事業制度の状況は。

イ. 各分団に対する水槽付ポンプ車購入割当基準、優先度があつたらお示し願いたい。

ウ. 町所有の消防自動車の総数、水槽付ポンプ車と水槽が付いていないポンプ車の割合、今後の水槽付ポンプ車占有率の目標値があつたら、その実現計画は。

(2) 消防財政のあり方について

ア. 毎年の消防費の予算、決算書を見ると非常備消防費に事務組合負担金が計上されているが、その考え方は。

イ. 毎年の消防費の中に、分団順に年次で拠点施設（屯所、詰所等）の改修費が計上されるのが常だが、この事業の到達点と必要財政額は。

ウ. おいらせ消防署及び北分遣所の設置年、定員、装備、シフト体制、設置年を境とした、今では年間3億5千万円前後に達する分担金等の増減はどの程度か。

順位	5席	議員 氏名	14番 西館 芳信	質問方式	一問一答方式
<p>(3) 非常備消防（消防団）の組織実態と改編について</p> <p>ア. 現在の分団数、定員と現員数、団員1名及び消防車1台当たりの年間出動数は。</p> <p>イ. 継続可能な消防団であるための課題を人材確保と財政面双方から、どう考えるか。</p> <p>ウ. 百石町誌によると昭和29年には同町消防団は8分団を数えていた。つまり、この分団体制はほとんど70年間、手付かずに継続してきたといえる。当時の砂利道から、国道338号線、45号線、海岸沿いの産業道路、浜街道などの幹線道路が整備、新設され、県下40市町村行政面積ランキング34位で71.96km²。しかも見渡す限りの平地は、消防機動力が大いに発揮しやすい、他市町村とは比較にならない条件を具備したことになる。</p> <p>加えて、おいらせ消防署、北分遣所の新設という画期的、革命的な消防活動環境が整備されたことを考えると、そろそろ、新時代に即した分団、施設、装備の在り方が論議され、組織的にも、財政的にも持続可能な消防像が具体化されてもいいと思うが如何か。</p> <p>機能別分団制度導入の可能性にも言及した答弁をお願いします。</p>					

順位	6席	議員 氏名	7番 澤 上 訓	質問方式	一問一答方式
----	----	----------	----------	------	--------

1. 公共施設使用料見直しと減免基準の変更に係る問題点について

(1) 行政と町内会の役割については、合併以前から広報紙の配布をはじめ、回覧板等を通じ、行政からの情報を住民に伝える役目を行ってきている。また、町内会は地域住民と行政をつなぎ、地域課題を解決していくため、地域における情報の共有化、コミュニケーションづくりに貢献してきている。

その外、地域の防犯・防災・防火活動を始め、環境美化活動、保健衛生活動など行政との協働により身近な公共的活動に積極的に取り組んでいる。

また、町の依頼を受け民生委員や保健協力委員など様々な委員を推薦し、福祉、保健などの分野における地域での対応や、行政の様々な事業等へ協力を行ってきている。このように、行政と町内会は互いに支え合いながら住みよい地域づくりのためのパートナー関係にある。

このことについて、町はどのように考えているのかお聞きしたい。

(2) おいらせ町は、これまで住民のコミュニティ活動を推奨し、公共的な役割を担っている町内会活動に対して理解し、公共施設を無料で使用させていたという大変独自性のある政策でもって、行政と町内会の信頼関係を築いてきたものと思っているが、このことに対して、町はどのような考えを持っているのか伺いたい。

(3) なぜ、公共的な役割を果たしている町内会との関係を切り崩すようなことを行うのか、甚だ疑問に感じる。事前に町内会への説明がなされたのか。

(4) 今回の公共施設使用料見直しと減免基準の変更は、公共施設を使用しない人たちとの公平性に欠けるという理由であるならば、日々公共的な役割を果たしている町内会から見て、逆の立場から公平性に欠けるものと感じとれるがどのようにお考えか。

(5) 行政の一翼を担っている町内会との関係は、車で例えるならば両輪であると言われている。町内会活動の公共性という考え方と、今後も協働のまちづくりを行う大切なパートナー関係であるということから、全額免除に変更すべきであると私は考えるが、町の考えを伺う。

